

しろいし

～支えあう まちづくり～



▲開催場所を提供してくれた森せい子さん(右)



▲「小さな産直」を開いている藤間文字さん



ゆいま～る

『新たにできた地域の居場所』

藤間文字さんの小さなつどい場が場所を変えて再開しています。南町のギャラリー皆美閉館に伴い、新たな開催場所を探していたところ、駅前通りの雑貨と衣料品のお店「木くれんが」の森せい子さんから「ここでやらい」と声を掛けていただき、新しい居場所ができました。

毎月第1、2、3の水曜日13:30～15:00まで開催しています。小さな産直とお茶っこのつどい場「ゆいま～る」に気軽にお立ち寄りください。

社会福祉協議会とは

地域のお子さんから高齢者の方まで、みなさんが生涯を通して安心して暮らせるよう、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業などを行う法人です。

主な内容

- ◆ ゆいま～る『新たにできた地域の居場所』… 1P
- ◆ 令和3年度事業報告および収支決算… 2・3P
- ◆ 白石市災害ボランティアセンター活動の様子… 4・5P
- ◆ 共同募金委員会だより… 6P
- ◆ 小学校入学応援事業・寄付受納の様子・みやぎ小さな活動大賞受賞… 7P
- ◆ お知らせ… 8P

社会福祉法人白石市社会福祉協議会

「社協だよりしろいし」は、赤い羽根共同募金の配分金を財源に発行しています。



令和3年度事業報告および収支決算

事業報告

「誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられる地域づくり」の実現のため、さまざまな福祉事業を実施しました。そのうちの主な事業を次のとおりご報告いたします。
たくさんのご支援、ご協力ありがとうございました。

●法人運営事業

市の6か月育児相談で絵本を贈呈する「ブックスタート事業」。抱っこのぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを赤ちゃんに届けます。

合計103冊を贈呈しました。



●地域福祉推進事業

・生活福祉資金の新型コロナウイルス特例貸付

宮城県社協からの委託を受け、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業などにより収入が減り、日常生活の維持が難しくなった世帯へ、緊急小口資金94件1,705万円、総合支援資金103件5,341万円の貸付に伴う相談対応を行いました。

・生活支援体制整備事業

市地域包括支援センターの地域リハビリテーション活動支援事業を活用し、希望があった地域の集いの場に理学療法士の派遣を受け介護予防の大切さを伝えるほか、サロンなどの地域活動支援（開設・運営）や出前サロンの開催を行いました。



▲理学療法士による運動指導

●共同募金事業

・福祉体験学習

市内の小・中学校を対象に、高齢者や障がいのある方々に関心をもつ機会を提供し、人を思いやる心や想像力、福祉への関心を高め、身近なものとして感じてもらうための取り組みへの支援を行いました。



▲小学校で車椅子の体験学習

・ふれあいサロン

コロナ禍でも高齢者の社会的孤立・運動機能低下を防ぐため、運営経費などの支援やレクリエーション用具の貸し出しを行い、市民同士の仲間づくりや、支え合いのきっかけづくりの場となれるよう、地域のみなさんと一緒に取り組みました。

・歳末たすけあい慰問金

新年を迎える時期に、ひとり暮らし高齢者の方など支援を必要とする方々が地域で安心して暮らせるよう、自治会長および民生委員・児童委員のみなさんなどのご協力により、768人に慰問金を贈呈しました。

●介護保険・障害福祉事業

ホームヘルパーによる高齢者の自立した生活の手助けや、ケアマネジャーによる利用者の心身の状態、希望などにあった適切な在宅サービスが利用できるようなケアプランの提案により、介護を必要とする方の生活を支援しました。

また、障がい者の介護や家事などの日常生活や外出支援を行いました。



▲ケアマネジャーとホームヘルパー

私たちが、お手伝いします

●やまぶき園管理運営事業

心身に障害のある方の社会参加促進を図るために、1日平均15人の通所者に事業所から作業の委託を受けたタオルや箱折りなどの作業指導や生活訓練を行いました。

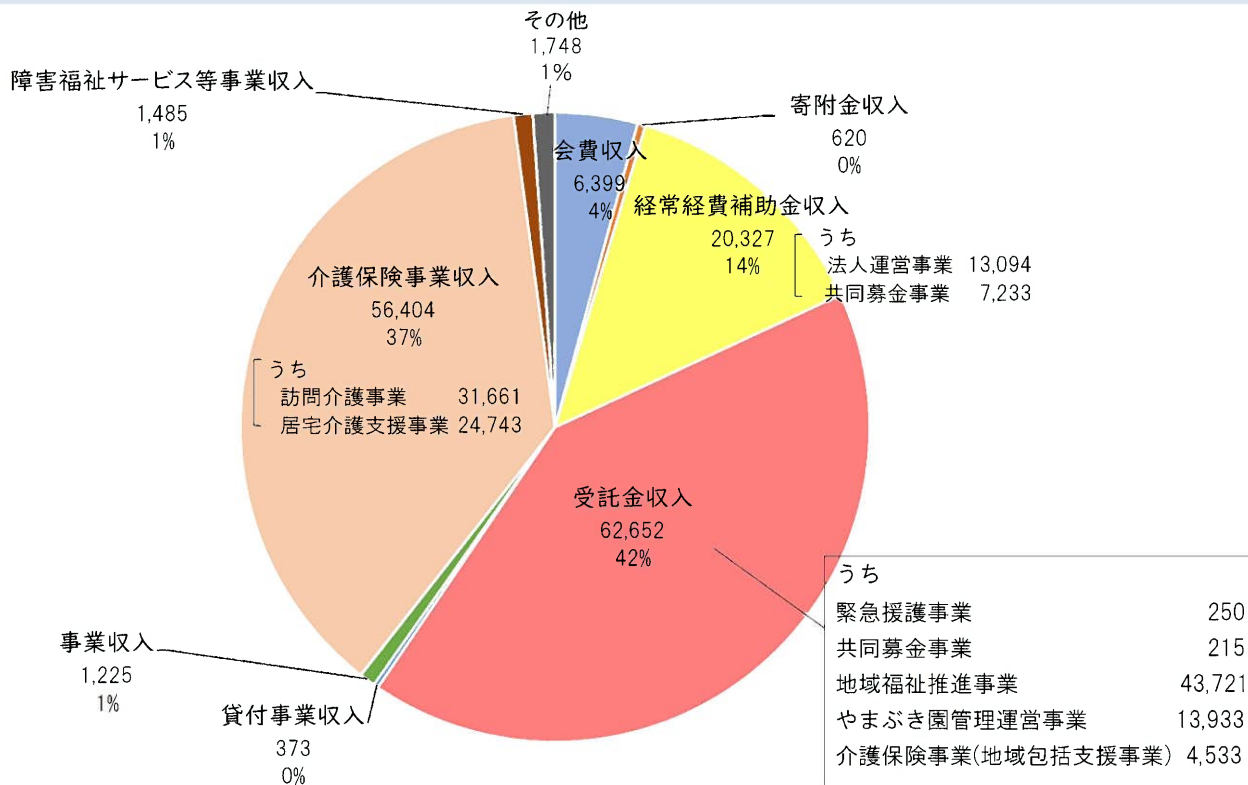
●緊急援護事業

困窮世帯の生活の安定と自立支援のため、必要な世帯に応急小口資金9件の貸付を行いました。

収 支 決 算

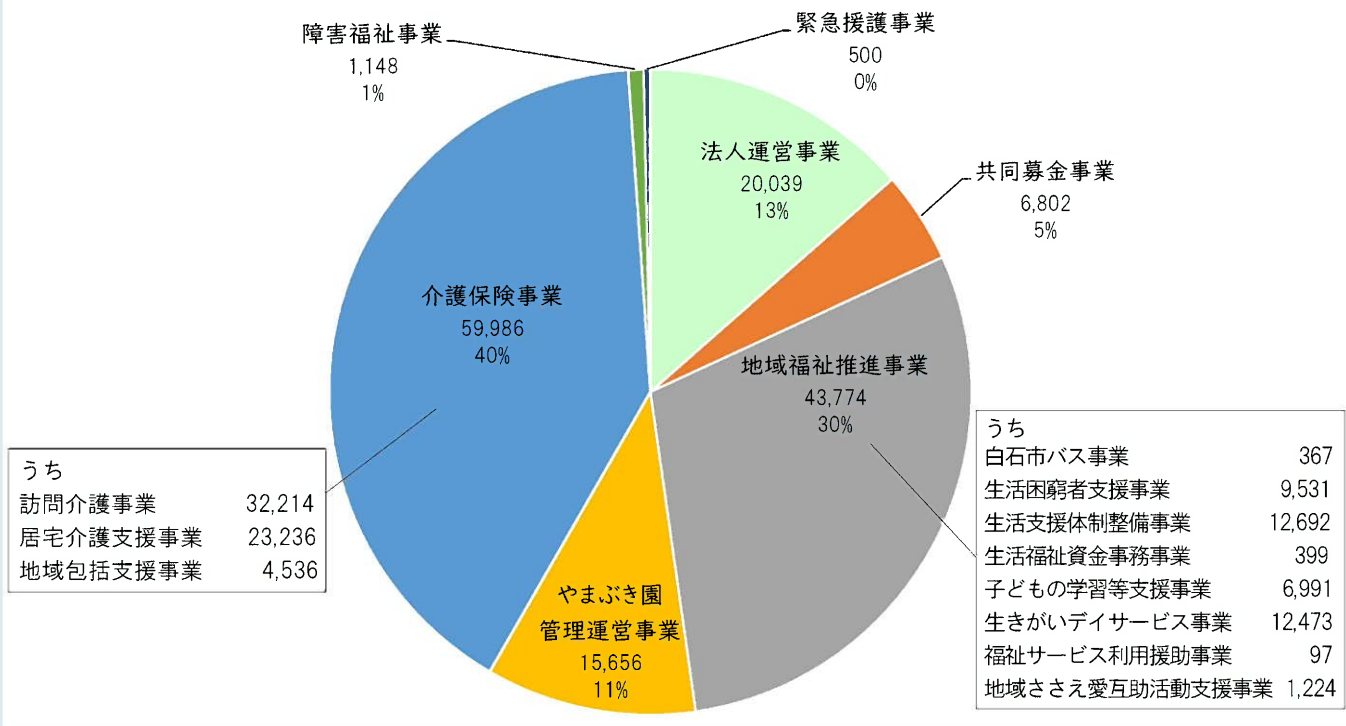
●収入総合計額

1億5,123万3千円



●支出総合計額

1億4,790万5千円



●繰越金

332万8千円

白石市災害ボランティアセンター活動の様子

令和4年3月16日に発生した“福島県沖地震”により被災されたみなさまに対し、心からお見舞い申し上げます。

白石市社会福祉協議会では3月21日から4月10日まで、福祉プラザやまぶきにて「白石市災害ボランティアセンター」を開設し、被災された市民のみなさんの生活再建を支援しました。

災害ボランティアセンターをご存じですか？

災害ボランティアセンター（以下「センター」）とは、災害の被害が大きく、家具の転倒や災害ごみの散乱など生活再建が難しい方が災害ボランティアの“力”を借りて日常生活ができる環境を回復するため、“被災者”と“災害ボランティア”をつなぐ拠点として設置するものです。

センターは被災地の社会福祉協議会が中心となって運営し、被災者の支援ニーズ把握、災害ボランティアの募集・受入、ボランティア活動の調整などを行い、白石市、宮城県社会福祉協議会、災害支援団体などと連携して運営します。

活動内容

①支援ニーズの把握

地震や風水害が発生した場合は、室内の片付けや掃除、泥だし、家財の運び出しなど被災者の支援ニーズを収集します。

②災害ボランティアの募集・受入

災害ボランティアセンターが開設されたことをホームページやSNSなどで発信し、ボランティアの受け入れを行います。

③災害ボランティアの支援

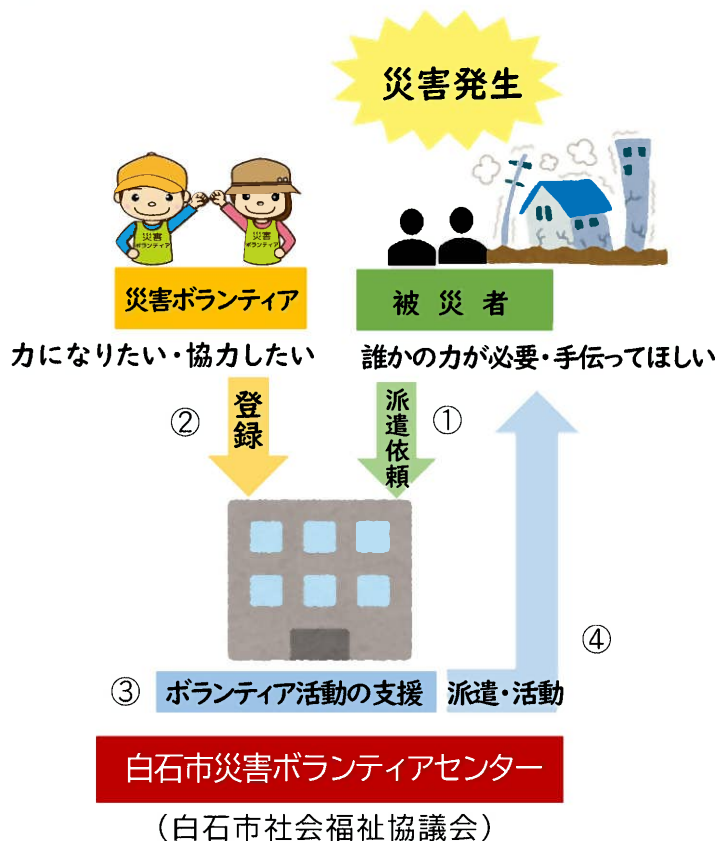
被災された方々の要望と支援に必要な災害ボランティアを調整し、活動日時・内容・支援に当たる災害ボランティアが決定します。

④活動の実施

活動先に移動し、被災された方々の要望に合わせて、ボランティアが生活再建の一助となるための活動を行います。

今回は地震による被害のため、転倒した家具や散乱した食器・ガラス・本などの片付け、壊れた家財などの運び出しの活動を行いました。

【災害ボランティアセンター図解】



【本の片付け】



【瓦の片付け・運搬】

災害ボランティアの声

災害ボランティア活動に参加した方に、活動してみたの感想をお聞きました。

～「平成30年西日本豪雨」が災害ボランティアの原点～

西日本豪雨で被害が起きた被災地に友人がおり、助けになりたいと災害ボランティア活動をして以後、台風19号と今回の福島県沖地震で、災害ボランティア活動に参加しました。

被災した方とお話することもあり、相手の心情を聞いて思いに寄り添うこと被災者の気持ちと状況を考えて活動する事の大切さを学ぶことができ、いろんな体験ができたと思います。

専門業者でもプロでもない一般人の力で、どこまでできるかもわからないし、出来ることに限りがあるけれども、人の手があれば良くなっていくんだと感じました。



べっぶ こうすけ
別部紘介さん



よねざわ なおこ
米澤尚子さん

～ボランティア希望の問い合わせに嬉しく感じた～

令和元年10月に発生した台風19号で災害ボランティア活動を経験し、今回も同じく「受付」のボランティアを担当しました。

市内外からたくさんのボランティア希望の問い合わせがあり、助け合いの意識を持つ方が大勢いることを嬉しく感じました。

ボランティアの一人に教え子があり、幼い頃の面影を残した顔で、笑顔で活動に出掛けていく姿を見て、私も参加して良かったなと思いました。



～人の手の大切さを実感～

八島好史さん：今回初参加。特殊な技術がなくても人の手でできることはたくさんある。災害は起きないことが一番良いが、今後もし発生した際は、また参加したいと思う。

今回活動で派遣されたところは、外からの見た目ではわからないが屋内の被害が大きく、片付けの協力が出来てよかったです。

八島来夢さん：高校生の時に、台風19号の災害ボランティア活動に初めて参加し、今回2回目の参加。自分自身に被害がないと気付かないが、活動に参加することで被害の大きさに気付くことができた。

また、自分だけではできない作業でも、多くの人と協力し合うことで大きな力を発揮することができると実感しました。

八島隆史さん：台風19号の時と今回で2回目の災害ボランティア活動。白石青年会議所の一員として参加しました。復旧するためにはどうしても機械などが必要なところもあるが、やっぱり人の手が必要なんだと感じました。



やしま こうし やしま らいむ やしま たかし
八島好史さん 八島来夢さん 八島隆史さん



【災害ボランティアセンター】
最後に参加したみなさんと記念撮影。

ご登録・ご活動いただいた市内・近隣市町村・県外から来ていただいたみなさん、ご協力誠にありがとうございました。



共同募金委員会だより

白石市共同募金委員会

会長 紺野 澄雄
 社会福祉法人白石市社会福祉協議会内
 白石市福岡蔵本字茶園62-1
 (白石市総合福祉センター内)
 TEL : 0224-22-5210 FAX : 0224-22-1571
 E-mail info@shiroishi-shakyo.jp

募金のご協力ありがとうございました

～令和3年度～ 赤い羽根共同募金

ほんの小さなやさしさで広がる大きな支援の輪

運動期間 令和3年
10月1日～12月31日

募金総額

5,877,356円



～令和3年度～ 歳末たすけあい募金

つながり ささえあう みんなの地域づくり

運動期間 令和3年
12月1日～12月31日

募金総額

4,065,349円



■ 戸別募金 (白石市自治会連合会)

支部名	募金額	支部名	募金額
白石支部	3,028,300円	大鷹沢支部	312,950円
越河支部	250,250円	白川支部	259,050円
斎川支部	173,800円	福岡支部	1,158,850円
大平支部	398,168円	小原支部	142,450円
合計		5,723,818円	

■ 戸別募金 (白石市自治会連合会)

支部名	募金額	支部名	募金額
白石支部	2,080,280円	大鷹沢支部	216,220円
越河支部	172,900円	白川支部	178,980円
斎川支部	120,080円	福岡支部	797,240円
大平支部	277,638円	小原支部	98,420円
合計		3,941,758円	

■ 学校募金

- 白石第一小学校児童一同
- 大平小学校児童一同
- 大鷹沢小学校児童一同
- 福岡小学校児童一同
- 深谷小学校児童一同
- 小原小学校児童一同
- 小原中学校生徒一同
- 東中学校生徒一同
- 白石高等学校生徒一同

合計 26,809円

■ 職域募金

- 白石市役所職員一同
- (社福)白石陽光園職員一同
- (社福)伯和会職員一同
- (社福)不忘会職員一同
- (社福)白石ひまわり職員一同
- (社福)白石市社会福祉協議会職員一同

合計 71,642円

■ その他募金

- 白石地区民生委員児童委員協議会様
- 本郷第二「ラ・ラファイン」様
- 大鷹沢まちづくり振興協議会様
- ハートフルベンダー募金様

合計 55,087円



■ 街頭募金

- 白石刈田仏教会様

合計 72,973円



■ その他募金

- 白石友の会様
- (株)岡崎工務店様
- 佐藤進様
- 匿名様
- 匿名様

合計 50,618円

■ 令和3年度歳末たすけあい配分事業実績額

歳末たすけあい募金収入	
令和2年度歳末たすけあい繰越金	409,667円
令和3年度歳末たすけあい募金	4,065,349円
合計	4,475,016円

歳末たすけあい配分事業額

ひとり暮らし高齢者(75歳以上)	684人	3,420,000円
ねたきり高齢者の介護者	35人	210,000円
要支援者	30世帯 49人	245,000円
配分諸経費		41,947円
ひとり暮らし高齢者生き生き交流会(開催中止)		
合計		3,916,947円

令和3年度歳末たすけあい繰越金 558,069円

令和3年度は、大鷹沢まちづくり振興協議会・大鷹沢自主防災連合会・白川地区ボランティア友の会・白石市婦人会が「住民力・地域力・福祉力を高める支援事業」の配分を受けました。

また、赤い羽根共同募金は、宮城県共同募金会を通して、社会福祉協議会等が行うサロンの活動助成金、障害者支援、小学校等の福祉体験学習などの地域福祉活動の民間財源として大きく役立てられます。

皆様のご協力ありがとうございました。



小学校入学応援事業 小学生からの生活・学習を応援します！

しろいし社協で新たに開始した小学校入学応援事業で、令和4年度の小学校1年生合計211人に就学支援品として目覚まし時計を贈呈し、4月8日に行われた越河小学校の入学式では、朝倉会長から直接贈呈を受けました。

目覚まし時計は針表示式のもので、お子さんの規則正しい生活リズムの習得や時計の読み方を勉強するときなどに役立ててほしいとの願いを込めています。



▲目覚まし時計の贈呈を受ける新1年生(右)

※就学支援品は、市民のみなさんや市内の法人・団体などのみなさんからいただいた社協会費や寄付金を活用して購入しました。



株式会社ダイナム白石店様から食品のご寄付をいただきました ～地域住民から頼られる企業を目指して～

令和4年5月31日、ダイナム白石店から食品やお茶缶、衛生用品などのご寄付をいただきました。

さいとうたかひろ

齋藤貴弘ストアマネジャーは「地域社会への貢献活動を通して、地域や地域住民との繋がりを大切にし、地域から声を掛けてもらえるような、頼られる企業を目指していきたい」と話していました。

今回いただいた食品などは、子どもの学習・生活支援事業参加者を始め、生活困窮者や地域の集いの場などで活用させていただきます。

ありがとうございました。



▲寄付物品を手にする齋藤ストアマネジャー(左)と朝倉会長

川原子あじさいを愛する会

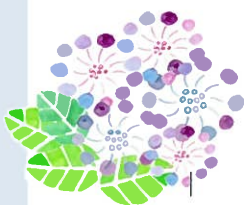
「みやぎ小さな活動大賞」を受賞しました。

あいち きいち

令和4年3月30日、2021年愛知揆一福祉振興会「みやぎ小さな活動大賞」の出前表彰式が行われました。

新型コロナウイルス感染者拡大による影響により、延期しての開催となりました。

40年前に“何か地域に誇れるものを作りたい”という思いで始まった「あじさいの植栽」は、長い年月を経て、今日では美しいあじさいロードの景色に貢献しています。あじさいの見頃は、6月末から7月中旬頃です。みなさんぜひ足をお運びいただき、見事なあじさいロードをお楽しみください。



▲会長の鈴木閑さん(左)と大久保朝江専務理事



▲川原子あじさいを愛する会と愛知揆一福祉振興会のみなさん

お知らせ

大平公民館“よってがいカフェ”が開催されます

自分の身体の正しい使い方・痛みの出にくい動かし方を学んで、元気に生活しましょう！
大平地区のみなさん、ぜひご参加ください。事前の申し込みは不要です。

【開催日時】 令和4年8月24日（水）10：00～11：00

【場所】 大平公民館（ホール）

【内容】 理学療法士の坪田朋子つぼたともこさんによる「健康・体操教室」

今話題のフレイル(※)予防や身体の正しい動かし方など、楽しく分かりやすく説明してくれます。

※フレイル：心身機能が低下した状態



コロナ禍で外出機会が減り、**筋肉量の低下**が心配。

足腰の痛みが気になるな…

それはね!

ぜひ参加して、話を聞いてみてください!



【今後の予定】

10月：ギターながいひろしの弾き語り
(演奏者：永井寛さん)

11月：ミニコンサート
(演奏者：アンサンブルシャプレ)



あたたかい善意ありがとうございました

福祉に活用してほしいと、みなさんから温かい善意が寄せられました。

♥ご寄付の御礼

- 匿名希望 様 玄米2袋
- (株)ダイナム白石店 様 生活用品一式



レトルト・インスタント食品や玄米など消費期限が長い食品のご寄付をお願いします。
(いただいた食品はフードバンク事業に活用しています。)

▲フードバンク事業

自動販売機売り上げの一部が寄付され、地域福祉に充てられます。

- トーカドエナジー(株)白石工場 様 7,317円
- 東北電力ネットワーク(株)白石電力センター 様 4,104円

(令和4年3月1日～令和4年5月31日)



社会福祉人 白石市社会福祉協議会

〒989-0231宮城県白石市福岡蔵本字茶園62-1
(白石市総合福祉センター内)

TEL：0224-22-5210 FAX：0224-22-1571

生活総合相談：0224-22-2130

○E-mail：info@shiroishi-shakyo.jp

○白石市社協ホームページ <https://shiroishi-shakyo.jp/>

公式Facebookもぜひご覧ください。



しろいし社協

しろいし社協 検索

